

前置胎盤・低置胎盤の分類別周産期予後に関する研究

研究協力をお願い

当科では「前置胎盤・低置胎盤の分類別周産期予後に関する研究」という研究を学校法人日本医科大学中央倫理委員会の承認および研究機関の長（学長：弦間昭彦）の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して行います。研究目的や研究方法是以下のとおりです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもって実施します。

皆様方には研究の趣旨をご理解いただき、この研究へのご協力をお願いします。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問などは下記の問い合わせ先へご連絡ください。

1. 研究の対象

2021 年 8 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日までに、妊娠 32 週より前に日本医科大学武蔵小杉病院女性診療科・産科を受診し、前置胎盤または低置胎盤と診断されて帝王切開手術を受けられた患者さん。

2. 研究の目的

この研究の目的は前置胎盤・低置胎盤の分類別（全前置胎盤、部分前置胎盤、辺縁前置胎盤、低置胎盤）に、緊急帝王切開の施行率・週数、警告出血の発症率・週数について評価することにより、前置胎盤・低置胎盤の分類ごとの妊娠管理方法を明らかにすることです。

3. 研究の方法

この研究は日本医科大学武蔵小杉病院で実施する研究で、研究責任者および研究事務局は日本医科大学武蔵小杉病院 女性診療科・産科 大内望です。

2021 年 8 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日までに日本医科大学武蔵小杉病院 女性診療科・産科にて、前置胎盤・低置胎盤に対し帝王切開術を受けられた患者さんの緊急帝王切開の有無、分娩週数などを比較解析し、前置胎盤・低置胎盤の分類別の妊娠予後についての検討を行います。

研究実施期間は実施許可日から 2026 年 12 月 31 日までです。

この研究は、外部機関との利益相反はありません。

4. 研究に用いる試料・情報

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：年齢、既往歴・合併症、既往妊娠回数、既往分娩回数、妊娠の方法、警告出血発症の有無・発症週数、分娩週数、帝王切開の緊急・予定の別、出生体重、分娩時出血量、輸血の有無、入院期間など

利用を開始する予定日：実施許可日

情報の取得の方法：研究目的でない診療の過程で取得

この研究に関する情報は、容易に個人を特定できないように記号化した番号により管理され、情報をインターネットに接続されていないパスワードのかかったパーソナルコンピュータにそれぞれ保管し、あなたの個人

情報を個人が特定できる形で使用することはありません。

また、患者さんから、研究を継続されることについて同意の撤回がなされた場合は、個人情報速やかに廃棄し、この研究に用いることはありません。また、研究結果の報告、発表に関して、個人を特定される形では公表しません。

5. 問い合わせ先窓口

この研究に関するご質問などがありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の患者さんの個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

また、情報が研究に用いられることについて、患者さんまたは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としますので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

日本医科大学武蔵小杉病院 女性診療科・産科 大内望

〒211-8533 神奈川県川崎市中原区小杉町 1 丁目 396

電話番号 : 044-733-5181 (代表) 内線 : 3177

メールアドレス : nozomi-0102-@nms.ac.jp